

福岡県糸島地域

「糸島産材」の安定供給を支援する 糸島産材SCMシステムの構築

重点プロジェクト④ 糸島産材流通の効率化・高度化

航空レーザ計測データを用いた供給計画の作成支援と サプライチェーン関係者による需給情報の共有

【現状と課題】

- ◎糸島産材の利活用を推進するために、川上からの安定供給体制の構築が喫緊の課題である。
- ◎糸島市では、2016年度に独自に整備した航空レーザ計測データが存在するが、サプライチェーンの資源情報としての活用が求められている。

【取組の概要】

◎2019年度「糸島産材SCMシステム」を構築

＜システム構成(図1)＞

※伐採計画作成支援システム

航空レーザ計測データ等を用いて、伐区の設定や出材内容や収支を予測し、伐採計画の作成を支援する。(図2)

※糸島産材需給調整システム

糸島産材の需要と供給に関する情報を、林業事業者と伊都山燦(中間土場)が毎月共有し、調整の基礎資料とし、2021年度は約7,000m³の糸島産材で運用を行った。(図3)

※糸島産材検収支援システム

伊都山燦(中間土場)における検収業務をデジタル化し、検収業務の効率化と出材情報の利活用を促進する。(図4)

◎2020年度より、「糸島産材サプライチェーン推進協議会」のメンバーにより、運用実証を開始。

【取組の効果・成果】

- ◎「糸島産材」に関する供給情報と需要情報を、サプライチェーンを構成するメンバーが共有することにより、安定供給・安定需要に関する意識が向上した。
- ◎供給側の林業事業者が、月次単位で伐採計画と伐採実績の要因分析を行う環境を構築することができた。

【成功要因】

- ◎システム構築の予算が限られる中、EXCELマクロやQGISのプラグインで開発することにより、ユーザーの導入コストを抑えることが出来たこと。(無償で提供)
- ◎糸島市が航空レーザ計測を実施済みであり、マスタープランの見直し作業時に、データ更新を行っていたこと。

【これから取組む地域へのアドバイス】

- ◎システムの円滑な運用のために、運用主体を選任する必要がある。
- ◎ユーザー目線で単純で使いやすいシステムを構築する。

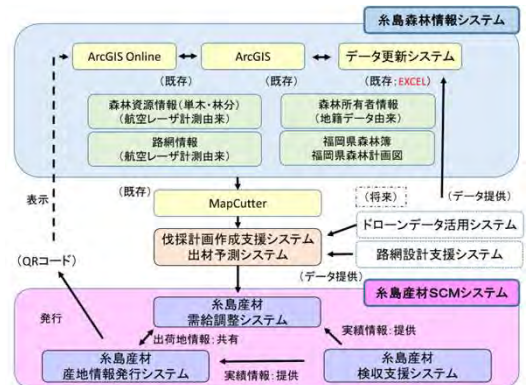


図1 糸島産材SCMシステム 全体図

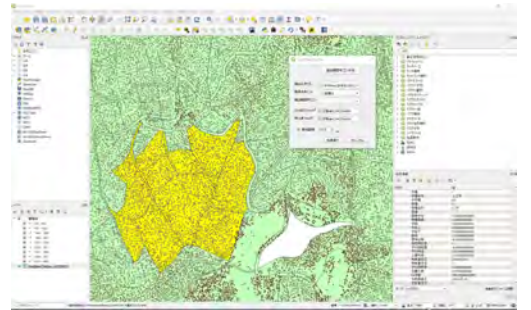


図2 伐採計画作成支援システム

月	産出	供給	調整	備注
1	100	100	0	
2	120	120	0	
3	150	150	0	
4	180	180	0	
5	200	200	0	
6	220	220	0	
7	250	250	0	
8	280	280	0	
9	300	300	0	
10	320	320	0	
11	350	350	0	
12	380	380	0	
合計	3000	3000	0	

図3 糸島産材需給調整システム



図4 糸島産材検収支援システム

担当者:産業振興部 農林水産課
吉村 武
メール : yoshimura.t.619@city.itoshima.lg.jp
電話 : 092-323-1111